

平成30年6月24日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦ホーネッツ 対 雁の巣ライナーズ戦

活躍した四選手（左から広木、川原、塚（恭）、稲葉選手）

写真：塩浜ジャガーズ 橋村明浩

### 奈多グラウンド 豪打爆発、三苦ホーネッツ！！

三苦ホーネッツ (6勝) 4 5 1 1 0 1 1 川原○ー広木

雁の巣ライナーズ (2勝2敗) 0 0 0 0 0 0 樽野●ー明瀬航

HR：塚（恭）、広木、矢野（義）（三苦ホ） 3BH：稲葉（三苦ホ） 2BH：松尾（三苦ホ）

夏至を迎えて最初の日曜日は、まだ涼しさの感じられる6時50分に試合が開始された。初回、先攻の三苦ホーネッツは、先頭の塚（恭）選手の柵越えHRの後、二番井出選手は四球、三番矢野（義）選手が遊撃内野安打で出塁する。すると四番広木選手が再び右中間へ柵越え本塁打を放ち無死のまま4点を先制した。初回から追う展開となったライナーズは、死球で出塁した二番国崎選手を二進させると四番樽野選手が見事にセンター前へ打ち返した。しかし、ホーネッツの稲葉中堅手の好返球で本塁タッチアウト！惜しくも得点機を逃した。ピンチを凌いだホーネッツは、二回表も再び先頭打者となった塚（恭）選手がヒットで出塁。すると、盗塁、内野安打に失策を絡め2点を追加する。それでも攻撃の手を緩めないホーネッツは5番稲葉選手の豪快な三塁打（植樹に当たらなければ本塁打！）等で更に加点し、二回終了時には9点と大量リードを奪って試合の主導権を完全に握った。流れを変えたいライナーズだが、二回以降は走者を出すことができない。回を追う毎に調子の上がっていくホーネッツの川原投手の前に四回終了時まで1安打1死球7三振と反撃の糸口が掴めない。その一方でライナーズ樽野投手は緩急を用いて強力ホーネッツ打線を封じる足掛かりをつかむ。三回にホーネッツ三番矢野選手に被弾したものの、以降2失点と持ち直し味方の反撃を待つ。樽野投手の立ち直りに応えたいライナーズ打線はバント安打を試みるなど手掛かりを模索するものの、球威十分の川原投手を打ち崩すことができず、無念の五回コールド負けを喫した。16安打、3本塁打、8盗塁の攻撃に加え、相手を2安打に封じたホーネッツの快勝となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：橋村明浩）



ライナーズを完封、ホーネッツ先発の川原投手。



雁の巣ライナーズ先発の樽野投手。



先頭打者本塁打のホーネッツ堺恭祐選手。



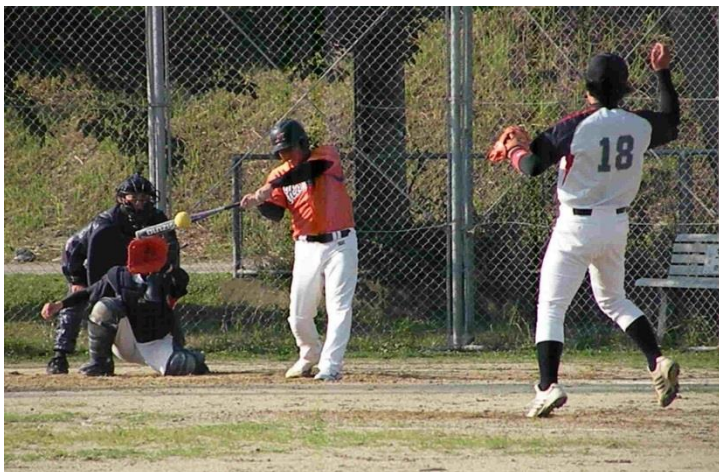
一回表、3ランのホーネッツ四番広木選手。



一回裏、死球をもらったライナーズ二番国崎選手。



惜しくもホームタッチアウトのライナーズ国崎選手。



三回表、ホーネッツ三番矢野選手の本塁打。



五回裏、惜しい！ライナーズ五番明瀬航選手の遊直。



五回裏、バント安打のライナース七番山本選手。



活躍のホーネッツ四選手。



観戦する檻の中の2人(笑)。

### 雁レク8 奈多クラブなんとか逃切り

奈多サンデーズ (2勝3敗) 000102 3 砂場●一野々下

奈多クラブ (4勝1敗) 003100× 4 今林(瑠)○、馬場口ー安河内

HR: 今林(賢)(奈多ク) 盗塁: 馬場口(奈多ク)

奈多サンデーズ先攻で始まった一回裏、二死から四球で出塁するも無得点。その裏、奈多クラブは四球とエラーで一死満塁と先制のチャンスを作るも、砂場投手が後続を打ち取り、初回は両チームとも無得点で攻撃を終わる。試合が動いたのは三回裏、先頭の今林(祐)選手がヒットで出塁すると、二塁にランナーを進め三番今林(瑠)選手がレフト前にヒットを放ち先制する。その後もヒットと相手エラーでさらに2点を奪い大量得点になるかと思われたが、砂場投手が踏ん張り奈多クラブの攻撃を3点で抑える。なんとか追付きたい奈多サンデーズは四回表に相手エラーとパスボールで二死二塁とすると、六番宮口選手がレフト前にヒットを放ち1点を返し2点差とする。しかしその裏に今林(賢)選手がソロホームランを放ち再び3点差となってしまう。奈多クラブは六回よりピッチャーを今林(瑠)投手から馬場口投手に代えて逃げきりを図りたいところだったが、エラーと四球で2点を取られ1点差まで追付かれてしまう。同点に追付きたい奈多サンデーズだったが、馬場口投手の前にあと一本が出ず攻撃が終了。その裏の奈多クラブの攻撃中に時間がきてゲームセットとなり奈多クラブがなんとか逃げ切って勝利を収めました。(記事・写真: 奈多フェニックス 能丸 英和)



奈多クラブ先発の今林（瑠）投手。



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



先制のヒットを打つ今林（瑠）選手。



軽快にゴロをさばくショート長濱選手。



リリーフ登板の馬場口投手。



野々下捕手まさかの落球（その1）。



野々下捕手まさかの落球（その2）。



野々下捕手まさかの落球（その3）。

## 青松園B 序盤から大荒れの好カードを制したのは・・・

三苫三球会（3勝2敗）6 0 0 1 0 0 7 早田、藤田○—今林

新町ウインズ（4勝）0 5 1 1 1 X 8 鮎川●—藤澤

HR：泉（太）、藤田（新町ウ） 3BH：泉（太）（新町ウ） 2BH：桐島、山口（新町ウ）

盗塁：安藤、桐島2（新町ウ）、藤澤（三球会）

心地よい天候の中、勝ち点9同士の試合の火蓋が切られた。初回ウインズは、先発早田投手のコントロールが定まらず5連続四球。途中藤田投手に代わるも押し出し、適時打含み大量6失点。二回裏ウインズは、四番桐島選手が二塁打、五番藤田選手が本塁打を放ち2点を返すと、一番泉（太）選手も本塁打を放ち一挙5点を返す。三回裏にはウインズ四番桐島選手が出塁し2盗塁で三進、七番山口選手の適時打で同点。流れがウインズに行きかけた中、四回表三球会は、一番藤澤選手が出塁するとWPで三進、ショートゴロの間に生還し1点勝ち越し。四回裏ウインズは、先頭の一番泉（太）選手が三塁打を放つと、犠牲フライで生還し同点。続く五回裏、ウインズ七番山口選手が右中間へ二塁打を放ち、九番宮原選手が逆転タイムリー。これが決勝点となり、序盤から試合が動いた中で自分たちのリズムを貫いたウインズに軍杯が上がった。（記事・写真：レッドサンデーズ 古賀 開）



ウインズ先発の早田投手。



ウインズ途中交代の藤田投手。



三球会先発の鮎川投手。



一回表、タイムリーヒットを放つ三球会上山選手。



一回表、タイムリーヒットを放つ三球会原口選手。



二回裏、右中間へ豪快なHRを放つウインズ藤田選手。



HR・三塁打を放ち後光が差し込むウインズ泉太一選手。



2安打2盗塁など積極的な攻撃を見せるウインズ桐島選手。



五回裏、決勝タイムリーを放つウインズ宮原選手。



六回表、意地の二塁打を放つ三球会藤澤選手。

### 青松園A 選手が足りず・・・そして中断・・・試合の行方は如何に！！

三友クラブ (0勝5敗) 0001 1 足達、矢野●-谷崎

和白新町パイレーツ (3勝2敗) 0030 3 八坂、沖田○-大濱

2BH: 小林(新町パ) 盗塁: 松尾(三友ク)

ここまで2勝2敗の和白新町パイレーツ対、今期1勝目が欲しい三友クラブとの対戦にて試合開始、と思われたが、三友クラブは試合開始直前まで人数が8名、あと一人足りず、不戦敗かと思われた。しかし本日は用事があり試合出場予定のなかった福山選手が急遽出場することに。しかもユニフォームがなく、綿パンでの恰好であるが、パイレーツ白岩監督の人間性の表れにより選手として認め試合開始となった。この状況の中、負けられないパイレーツは先発に八坂投手を立てる。一回表三友クラブは、八坂投手の前に四球で二人のランナーを出すも後続が倒れ無得点。一方のパイレーツも三友クラブエース足達投手の前に八坂選手のバントヒットのみにて無得点。そして三回表、三友クラブの攻撃が終了し、またしても事件が起きる。急遽出場の福山選手が用事のためこの回までとなった。広瀬監督より、あと一人なんとか来るので待つてほしいと要望があがる。またもや神対応の白岩監督が10分間待ちます！と男気あふれる神対応にて時間が経過。そして！なんと、三友クラブ若手の主力である平田選手が10分間の時間ぎりぎり到着！！試合再開となった！何とも言えない空気の中、三回裏のパイレーツの攻撃は、一死後に一、二番が連続四球にてチャンス到来！続く三番小林選手、今期9打席ヒットが出ておらず、この日も1打席目まで凡退、その選手が右中間へ運ぶ値千金の二塁打を放ち先制！！次の打者が凡退し、迎えた神対応の白岩監督兼選手が、あわやライトゴロかと思われたが俊足をとばしセーフとなり、3点目を挙げ

た。迎えた四回表、パイレーツは抑えに沖田投手を投入。一矢報いたい三友クラブは、広瀬監督が意地のレフト前ヒットにてチャンスをつくり、続く足達投手はDBにてさらに追い上げチャンスを迎える。続く一番中内選手の打球は三塁線横をやぶる強烈な打球で1点を返す、二番矢野選手もレフト前ヒットで続き、三番打撃好調の松尾選手に期待がかかるが、ショートフライに倒れゲームセット！パイレーツに軍配があがった。試合開始から試合継続も危ぶまれた試合だったが、終わってみるとパイレーツ3安打、三友クラブ5安打、少ないチャンスをものにしたパイレーツの意地の試合運びであった。

余談ではあるが、遅れて来た平田選手は、前夜飲みすぎにて遅刻したとのこと。やはり試合前日の準備はどのチームにも言えるが、自分自身の管理が痛感された出来事であった。皆さん、くれぐれも飲みすぎには注意です！

(記事・写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝)



準備万端のパイレーツ先発八坂投手。



人が足りない・・・三友クラブ。



急遽出場！福山選手。



何とか9人！試合開始。



一回裏、八坂選手、絶妙のバントヒット！



二回表、三友クラブの初ヒットはこの人！福山選手。



三回裏、パイレーツ三番小林選手の一打で均衡破れる！



三回裏、パイレーツ牟田選手が先制のホームイン。



三回裏、攻守好打の要、白岩監督兼選手。



四回表、反撃の狼煙！広瀬監督。



四回表、ピンチを迎えるパイレーツナイン。



四回表、遅れてきた平田選手、挽回の場面だが・・・。



四回表、サード横！抜けるか！中内選手。



四回表、万事窮す！





本日のヒーロー！満面の笑み、2安打に抑えたパイレーツ八坂投手、先制打の小林選手！

## 第9週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第9週、6月24日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対雁の巣ライナーズ戦は、全勝のホーネッツが勢いそのままにライナーズ樽野投手に襲い掛かり、塚（恭）、矢野（義）、広木選手の3 HRを含む計大量11点を奪う。ライナーズはエースの有馬投手、四番の宇野選手の不在が痛かったか？投げてはホーネッツ川原投手が2安打1死球のほぼ完璧なピッチング。11-0でホーネッツが全勝を守った。

雁レク8の奈多サンデーズ対奈多クラブ戦は、奈多クラブが三回裏に4安打を集めて3点を先制すると、四回裏には二番今林（賢）選手がソロHRを放つ。このHRが値千金。奈多クラブ二番手馬場口投手に代わって1点差まで追い上げられるも1点差で奈多クラブが逃げ切り3-4で奈多クラブの勝利で1敗を守った。

青松園Bの三苦三球会对新町ウインズ戦は、初回から6点のビハインドを背負う全勝のウインズだが、二回裏にウインズ藤田、泉（太）選手のHRを含む4安打を集めて5点を返すと、三回裏に追いつくと、各回1点ずつ加えて最終的に7-8でウインズが大逆転勝利。二回以降打撃力を活かしたウインズの底力を見た。

青松園Aの三友クラブ対和白新町パイレーツ戦は、三友クラブの人数足りない問題で、急遽福山選手が私服で、寝坊の平田選手が来るまで出場。何とかプレーボールは出来たが、やはり人員不足と準備不足は否めず、毎回のようにチャンスは作るも1点止まり。パイレーツは三回裏に三番小林選手の二塁打を足がかりに3点を奪い、1-3でパイレーツの勝利。

各チーム監督さんは、勝つために試合展開をいつ考えているでしょう？

先発メンバーを考えるとときでしょうか？

では、いつ先発メンバーを考えるでしょうか？

集合時間に集まったメンバーを見た時？ 試合前の練習の時？ 前日？

監督がいくら考えても、そのメンバーがいなくては理想の試合展開に持ち込むことが出来ません。

ちなみに我がレッドサンデーズは、前日にLINEで先発メンバーと試合展開を伝えています。

No More 遅刻、ドタキャン！